- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(オリジナル T シャツ頂きました そっちやないこっちや 公開講座、四国大学ボランティア)
- ・ご協力者名簿/編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

182号/2018 **Since 1984**

「経営する大変さと働く大変さ」

杉浦 良

「経営者」のイメージが大きく変わったのは、私が進路を大きく変えようともがいていた頃です。親に内緒で当時在籍した電子工学から文学部社会学科社会福祉専攻へ転部、学費と生活費捻出のため、講義のない日の昼間と夜に中華料理屋でアルバイトを始めました。時給は当時550円、決して高くはありませんが食事がおまけについてくるのが(自分で作るのですが)助かりました。職人さん1人とアルバイト1人でカウンター10席テーブル席12席ほどを切り盛りし、ラ

ーメンを茹でたり餃子を 焼いたりしながら、接客、 レジ、後片付け、掃除、洗 い物までこなさなければ なりません。職人さんも料 理作りはもちろん、材料の 仕入れから食材の仕込み、 餃子のネタ作りから包む ことまでこなします。



トラックの洗車はメンバーのKさんが行っています。

「・・在日韓国人のオーナーは学校を卒業してもなかなか就職口が決まらず、何とかお金を借りて店を構え、土地、建物、設備の返済と従業員の給料、食材や備品等の仕入費や水光熱費等を差し引いて残りが自分の取り分、客が少ない時は自分の給料がないだけでなく、持ち出しになる。給料・時給が保証されている俺たちとは違うし、大企業や官公庁とは次元の違う話だ・・」

彼からの話をまとめると、こんな言葉になります。それ以来、夜、中華鍋を振るオーナーの後ろ姿に、ずっしり重たい荷物の存在を感じるようになりました。

現在日本の働く場である大企業と中小零細企業の比率は、1パーセントと99パーセント、労働人口比としては30パーセントと70パーセントと聞きました。全国ネットでコマーシャルベースにのる大企業にどうしても焦点が当たりがちですが、日本の働く場の中心はやはり中小零細企業でしょう。「大企業が潤えばしばらくすると中小零細企業も潤い、お金がある方が豊かになればそのうちお金のない方も豊かになる」などと、かつて盛んに語られながらも、実はますます格差が拡がっていく現実があります。

障害者自立支援法で誕生した就労継続支援 A 型事業所があります。ハンディーを持つメンバーも雇用契約を結び、本来は働くことで収入を得て必要経費を差し引いた後に最低賃金を保証するという事業所ですが、そこで働くサービス管理責任者や支援員と言われる職員は、ハンディーを持つメンバーに支払われる自立支援給付費(公的資金)から給料が支給されます。定員 20 人であれば 1ヵ月 22 日 20 人分の給付費を確保することで職員の給料が担保されるわけです。

「悪しき A 型問題」と騒がれたのは、大した売り上げも出ない作業なのに公的資金(給付金や特開金)を流用することでメンバーに最低賃金を支払って(短時間契約で)いたことです。

2017年4月から厚生労働省が流用を禁止したことで、事業所を閉鎖するところが多発しました。全体の7パーセントは給料(メンバーの)が事業収入で賄われたというデータがありますが、つまり残りの93パーセントはメンバーの働いた事業収入では成り立たないということになります。これは売り上げが少なければオーナーの給料がないばかりか、オーナーの持ち出しになるという、私が経験した現実とはかけ離れています。

就労継続A型事業所で働くメンバーと就労継続B型事業所(公的資金の流用は当初から禁止)で働くメンバーが、同じような作業内容で、前者は最低賃金が保証され後者は時給150円とすれば、普通は納得できないでしょう。「同一労働、同一賃金」という軸からしても、全くアンフェアーな現実があったわけです。

「お金を稼ぐのは、そんなに楽なことあらへん。やっぱ大変だわ!」 私の経験に照らし合わせると、そんな現実感覚が、ハンディあるなしに関わらず大人と しての社会性を築き上げていくように思います。

お知らせ

オリジナルTシャツ頂きました

らくがき屋の樫谷義人さんと言えば、街の喫茶店あっぷる (ハートランド) に出入りするサックスグループ E b のイメージが強いのですが、実はオリジナルプリント T シャツなどを手掛けるアーティストです。

「太陽と緑の会のオリジナルTシャツ作って、みんなに寄付するわ!」というお話を頂き、S1枚、M8枚、L12枚、XL3枚、合わせて24枚ものTシャツを持ってきて下さいました。

「こんな T シャツ、ほ、ほしかったんよ!!」

興奮気味のYさんが、樫谷さんに「あ、あ、ありが とうございます・・」とお礼を言うことしきりです。

翌日の朝ミーティング。段ボール箱の中から色鮮やかなTシャツを取り出すと、皆の視線が集まります。

「AさんはサイズはLかな」「いや、Mでいけます」 「僕はLがいいです」

早速着て、店内での作業を始めました。夏バテ気味のメンバーも、どことなく表情が違います。

本当に有難うございました。

大学生体験 ボランティア

「もしもし、卒業を前にそち らでボランティアをやりたい んですけど・・」

そんな電話とともに四国大学の藤本さんがやってきました。8月30日から9月3日まで色々なポジションに参加して頂き、メンバーたちとも上手く打ち解けてくれました。

「日々日常の活動に同じ顔触れで同じ作業をしていると、最初は安定につながるけれど、そのうち関係が腐ってくる・・」

そんな時、新たな顔ぶれが 入ってくると空気が変わりま す。藤本さん、有難うござい ました。



樫谷さんから頂いたTシャツを着て、商品の入れ替えの作業

そっちやない こっちや 公開講座報告

9月8日午前9時30分から12時10分まで、ヒューマンわーくびあ徳島5階大ホールにて、「とくしま社会運動資料センター第10回公開講座」があり、映画「そっちやない こっちや」を沢山の方々に見ていただきました。

「『百聞は一見にしかず』色々考えまして、 やはり私の面白くない話を聞いて頂くよりは、映画を見ていただくに限ります。 今回見て頂く「そっちやない こっちやコミュニティケアへの道」は 1981 年(昭和56年)に完成した映画です。柳澤寿男監督65歳の時です。今から37年前、国際障害者年の年です。1979年柳澤監督63歳の時、映画がクランクインしました。

1968年に重症心身障害児施設びわこ学園を舞台にした「夜明け前の子供たち」1970年に仙台国立西多賀病院の筋ジストロフィー症の子供たちを映像化した「ぼくのなかの夜と朝」1975年に身体障害者の働く西多賀ワークキャンパスを舞台にした「甘えることは許されない」の三本のドキュメンタリー作品を作った後の作品となります。

当時の時代背景として養護学校義務化が 1979 年に施行されましたが、知多市にはまだなく、映画に出てくるハンディを抱えたメンバー達は殆んどが就学猶予でした。精神保健福祉法が施行されたのが 1995年、精神領域の方たちは障害者ではなく病人の範疇でした。障害者自立支援法が施行されたのが 2006年。

愛知県ではこの頃ようやく愛知県コロ ニーという入所施設ができたばかりです。 学校に通えず施設にも入れない様々なハ ンディを持ったメンバーたちが、制度が整わず、大変な背景を抱えながらも、地域の中でたくましく生きていく姿がそこにありました。

今社会福祉をどう持続可能にするか? という難問に直面している中、40年近く 前の映画に大切な精神が隠されているよ うに思います。

実は私の20代後半の姿が映画後半から出てきます。お分かりになるかどうかわかりませんが、今と比べていただき、後ほど色々話題にしていただければと思います。手短な私の話ですが、質疑応答の時に、その分いろいろお話させていただければと思います。では113分の映画となります。ご覧ください。」

こんな導入話で始まった公開講座、雨空にも関わらず来てくださった皆さん、そしてこれを企画して頂きました関係者の皆さん、有難う御座いました。

活動報告・来所見学

6月30日 NPO法人一村(佐那河内村) にて小山が太陽と緑の会の活動報告をさせて頂きました(後日、3台の車で品物をお持ち込みに来て下さいました。ありがとうございました)

7月22日午後、日本チャリティーショップ・ネットワークに加盟されている8名の皆様が来所・見学。

(特非) WE21 ジャパン(横浜)の園田さん、(特非) エコメッセ(東京)の大嶽さん・大井さん、中部リサイクル運動市民の会(名古屋)の和喜田さん、市民ボランティアかなう(大阪)の青木さん、(公社)セカンドハンド(高松)の新田さん、日本チャリティーショップ・ネットワーク(横浜)の贄川さん、古賀さん

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2018 年 5 月 19 日~2018 年 9 月 10 日 § (紙面の都合上、敬称は略させて頂きます)

ご寄付を下さった皆様

浜田、西林、筒井、宇野、長谷部、匿名、平田(郵便振替口座) 匿名、荻野

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○森本、岡村、中沢、島井、瀬部、秋山、丸岡、山口、清水、福井、坂口、小 **倉、杉浦、東、幸田、渡壁、坂東、森井、三木、辻、熊本、河野、上田、徳島市役所、** 美谷、新開、高田、増田、梶本、高橋、林、田中、小西、吉岡、百々、前川、橋本、鈴 木、山下、柳生、細川、富士、宮島、米倉、西田、阿部、渡辺、喜多、藤本、村上、長 町、土佐、米田、多田、中上、秋田、吉富、剤田、北川、湯浅、石本、崎本、高野、早 川、鎌田、藤仲、小原、西條、木内、石川、井上、久保、熊川、大寺、若宮、大村、近 藤、中川、中筋、友行、新見、小倉、川上、徳長、阿部、富永、山本、新居、黒木、中 園、黒田、山郡、岡、徳島信用金庫、喜田、小松、林、木津、笹田、杉原、三月田、瀧 本、島田、西川、林、尾藤、鍋島、吉本、東條、湯浅、樫谷、大上、徳永、大磯、小懸、 助岡、武岡、久保、芝、井原、碇、篠田、岡田、菅井、三宅、坂東、遠藤、宮内、徳本、 大井、腰高、、山口、大貝、数藤、徳永、島野、美馬、久米、麻植、吉田、長谷川、福山、 片山、梅本、姫野、柳生、京寛、松村、大北、野口、岩崎、小笠原、川原、猪俣、北井、 吉田、川田、高橋、長谷部、今獅々、東口、八木、加藤、中野、橋本、河野、田中、国 府プラザミシン、田所、後藤、三津田、西、岩本、堀川、片山、多田、西森、荒木、原 田、瀧野、小櫻、佐中、西村、小林、浅野、松田、宇野、林、久次米、真杉、遠藤、福 井、地域活動支援センターやまもも、安田、船越、高開、山本、福島、麻植、大磯、松 内、笠井、近藤、瀬戸、武藤、三好、菱川、竹内、山野、大北、井上、原田、田中、武 市、岡村、榊、朴木、上田、麻植、米里、拍原、桐本、今井、菅原、久米、山崎、棚次、 後藤、長江、櫻本、中西、杉山、吉田、猪俣、中石、鎌田、藤原、中川、長谷川、長瀬、 石本、浅尾、前、松原、清水、久米川、近藤、片岡、山川、正本、熊本、和田、西澤、 勝山、杉原、近藤、阿部、岩朝、高橋、林、田中、川上、峯田、小林、梁、吉崎、笠井、 津田、西、田中、小川、廣島、島津、松浦、藤田、南、寺西、長谷川、岩佐、友成、松 田、武市、河野、仁木、加島、福山、片岡、松本、原田、川尻、熊川、田村、浅見、峯、 石井、竹内、佐藤、坂東、妙見、池田、徳永、浦森、内海、高田、松村、幸田、美馬、 鈴木、オオシマ、槇尾、岡、花本、白木、福山、松原、加藤○石井町○武知、藤重、市 川、松本、浦払,、石本、香川、佐川、以西、小杉、吉本、福島、平野、武市、斎藤、古 高、森、西村、井内、武田、藤井、多田、田中、井上、大西○吉野川市○古谷、岡本、 武本、谷□、山脇、鈴木、青木、石田、新見○三好市○中川、北浦、尾本○美馬市○佐 藤、戸島、藤田、加藤、栗本○阿波市○後藤、大福、高島○小松島市○山口、(株)アワ ード、庵本、平井、新居、矢野、片山、AMATEU、伊勢、廣田、レイチェル 土橋○阿南市○原、中西○勝浦町○大久保○海陽町○萩原○海部郡○中井○牟岐町○古 藤○板野町○菱岡、稲垣、信田、長尾、陰本○鳴門市○正木、馬居、鳥居、高江、山本、 福岡、大竹、富久、若山、高松、白川、藤川、小川、益田〇北島町〇北島、前田、(株) フジワーク○上板町○世戸、森川、安永、笠井、飯田○藍住町○白川、楠木、西川、坂 東、松田、中村、倉橋、山本、尾方、譽田、福永、藤本、井上、下岡、西林、石本、妙 見、高田○神山町○高橋、NPO 法人グリーンバレー(伊藤)、清水、坂東○佐那河内村○NPO 一村、西川○その他○山田○兵庫県○太田○埼玉県○本田○岡山県○高橋○香川 県○松村、浅川、高濱○京都府○木村、井上○奈良県○平田○福島県○小野○福岡県○ 永峰○東京都○小林、三木、瀧倉

<u>品物を引き取りに</u> お伺いさせて頂いた皆様



樫谷さんから頂いたオリジナル T シャツ(カラフルでよく 目立ちます。白黒の機関誌では分かりにくいですが…)



頂いた讃岐うどんをぶっかけうどんにしました。食べるスピードのはやいこと…。

ット、磯塚、水谷、富永、山田、渡辺、太田、進藤、梶浦、松原、岩田、森、宇野、神田、米原、大黒、大櫛、橋本、岩代、岡田、撫養、二階、芝、才木、バルネケ動物病院、長野、(株)拝村、井原、浜田、佐藤、塚井、石本、高瀬、吉内、西谷、加藤、野々瀬、溝杭、廣島、青木、木本、高島、仁尾、家段、七條、浜、横山、美馬、柿内、天羽、大村、田村、堺、山崎、金森、般若院、秋山、支援センター、久宍、ファミリーマート富田橋店、吉野、木田、水野、福田、大開、竹丸、松家、高山、小倉、石丸、松浦、西谷、小寺、藤崎、新納、中道、長谷部、田中、大西、岩佐、明石、 増田、八尾、原、ケミカル建設(以西)、高島、古田、伊藤、木下、浜、吉田、米田、佐野、渡辺、土肥、西原、ケミカル建設(以西)、高島、古田、伊藤、木下、浜、吉田、米田、住友、高川、瀬戸内、安丸、建設(以西)、高島、古田、伊藤、木下、浜原、大和、西田、住友、高川、瀬戸内、安丸、土肥、幸田、下内、ホテルサンルート(原)、賀川、佐々木、長町、わかば認定子供園、三宅、河野、東田、下内、ホテルサンルート(原)、賀川、佐々木、長町、わかば認定子供園、三宅、京永、中西、桂、柿本、沢西、渡部、関田、阿神、田、大の県門市○石橋、森、寺本、浪花、久龍、西谷、大西、長谷川、西縣、小中島○小松島市○森、内藤、山□、平沢、西原、湯浅○石井町○濱、三木、関□、浅野○吉野川市○大久保、古谷、安芸、森田、岡田、筒井、新見○松茂町○横関、佐藤○北島町○富永、新谷、新谷○石井町○西條、芥川、浅野、友成○阿波市○スマイル作業所○上板町○桜井○佐那河内村○NPO 法人

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

手作りのブルーベリージャムを持って来て下さった平島様、新じゃが、玄米、みかん、とうもろこし、スイカを下さった白川様、横山様、多田様、二階様、桃を送って下さった 小野様、瀧倉様、お米を送って下さった平田様、讃岐うどんを送って下さった松村様、旬 のお野菜を差し入れて下さった皆様、ありがとうございます。

「去年の玄米だけど…」とお気遣い下さる方もおられますが、おいしく頂いております。 賞味期限の近づいた防災用のアルファ米も、家でご飯が炊けないメンバーの貴重な食料と なりました。経済的に厳しいご家庭のメンバーも多く、食材のご寄付は本当に有難いです。

メッセージを添えてお品物を郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。ワークキャンプや一年間ボランティアに参加された方で、今でも時々送って下さる方がおられ、本当に嬉しく思います。頂いた品物は大切に活用させて頂きます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



編集後記~「見ないと見えないの間」

正会員の皆様が集まって行う、年1回の 太陽と緑の会通常総会。

今回は、中堅スタッフ2名の退職と産休 に伴い、作業の流れから、売場の形まで大 きく変えてきたこの1年をプロジェクター 映像を見ながら振り返りました。

リユース・リサイクルに重きを置きすぎるとメンバーが活きるということが後回しになり、メンバーの事ばかり優先していたのでは運営が立ち行かなくなる。両方の軸のバランスを考えていく「人も物も活かされる街づくり」の意味と難しさを改めて確認する機会になりました。

障がい者の方の経済格差がテーマの一つとして上がりました。

経済的に厳しい家庭で生まれ育った方とそうでない方とでは、同じ障がい者といってもスタートラインから差がついています。本人のハンディに貧困というハンディが加わって厳しい状況が生まれます。

学校の学級費や修学旅行費を親が払えない、体操着や制服が買えない(補助の制度があっても親が申請しない、申請方法が分からない、必要書類をそろえられない)、朝食がない、お昼の弁当もない(作れない、お金がなくて買えない)、夕食はカップラーメンだけ、洗濯してもらえず(もしくは替えの服がないため洗濯できず)、真冬でも半袖を着て、穴が開いて水浸しの靴を履き、通学用の自転車が壊れても直せないので歩いて通学……。

「親が無理なら、自分で何とかしたら」 と言われても、ハンディの問題でそれも難 しく、八方塞がりになります。

現場の実態が見えにくい所で支援の必要性が判断される構造的な問題もありますが、地道に現場の声を届けていくことで少しでも明日につなげていければと思います。(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。 このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1 TEL・FAX 088-642-1054 代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎 ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田 ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー堀 製本・発送作業担当メンバー 福住

<u>年会費:正会員1万円(総会議決権・事業決算報告)</u> 準会員1,000円(機関誌発送のみ)

郵便振替□座:01620-8-44703 加入者名:特定非営利活動法人太陽と緑の会